

日 時：令和5年2月13日（月）9：35～11：25
 場 所：新潟市立中之口東小学校
 主 催：北陸信越運輸局
 協 力：西蒲区社会福祉協議会
 対象者：新潟市立中之口東小学校 4年生児童（20名）

○実施概要

新潟市立中之口東小学校の児童を対象に、バリアフリーについての理解を深めることを目的に、バリアフリー教室を開催しました。

当日は、車椅子体験を実施。児童らがペアを組んで車椅子の使用者役と介助者役に分かれ、それぞれの立場から体験しました。

今回の体験をとおして、普段の生活の中で車椅子を使用される方にとって、どのような支援が必要になるか等を学びました。

○参加した小学生の感想（代表者抜粋）

福祉では、相手の立場になってみるのが大切だと思いました。これまで、体や目が不自由な人の生活を大変で嫌なことばかりだと思っていました。しかし、たくさんの学習をして、周りや世の中には助けてくれる人がたくさんいる事が分かり、嫌なことばかりじゃないと分かりました。

私は、今日初めて車いすに乗りました。車いす体験では、短い坂道やゆるい坂道でも、登るのが大変な事が分かりました。その時、車いすに乗っている側は、坂道をななめになって登るので、すごく怖いことが分かりました。でも、車いすを押してくれる人から声かけをもらえると、怖い気持ちが少しやわらぎました。声かけがすごく大切なことが分かりました。また、車いすによる多目的トイレの使い方を学習しました。車いすでトイレに行くとき、せまいトイレではなく、大きな広いトイレに入ります。中をよく見ると、鏡の場所が普段のトイレとちがったり、手すりがあったり、手を洗う所が2つあったりしました。1つの手洗い場は車いすが奥まで入れる作りで、手洗いしやすかったです。さらに、坂を下る時は、前を向いて下りるのではなく、後ろを向いて下りるようにすることが分かりました。

もしも学校の帰り道などで、車いすに乗っている人が困っていたら、今日習った事を生かしたいです。

【基礎編】

体育館に疑似体験コースを作って車椅子の操作方法、介助方法を学習



【発展編】

校舎内の設備を（車椅子に乗って・車椅子を押して）体験



【多目的スペース(スロープ)】



【玄関(スロープ)】



【手洗い場】



【多目的トイレ】



【玄関(段差)】



【手洗い場】